

『山留め設計指針』 正誤表

* 「修正刷」の欄は、以下を表す。

1 : 第1刷での修正

修正刷	修正箇所	誤	正
1	4頁 表1.3.1「法規名」上から3行目	労働安全衛生法・労働安全衛生規則及び関連法規	労働安全衛生法・ 同施行令 ・労働安全衛生規則 および 関連法規
1	4頁 表1.3.1「法規名」上から6行目	振動規制法・同施行令	振動規制法・同施行令・ 同施行規則
1	4頁 表1.3.1「法規名」下から6行目	建設工事に伴う騒音振動 防止 対策技術指針	建設工事に伴う騒音振動対策技術指針
1	5頁 表1.3.2「提出時期」上から3行目, 7行目, 8行目, 下から5行目	1週間前 10日前程度 7日前程度 14日前	道路使用の 1週間前 通行しようとする日の 10日前程度 道路占用の 7日前程度 使用の 14日前
1	6頁下から1行目	……, pp. 19- 21 , 2009	……, pp. 19- 22 , 2009
1	10頁下から14行目	その 他に 既刊都市地盤図 ^{2.3.1} や地形図, 土地条件図, 地質図, ……	その ほか 既刊の都市地盤図や地形図, 土地条件図, 地質図 ^{以上2.3.1} , ……
1	11頁 表2.3.1「名称」上から2行目	総合 地下構造データベース :	統合化 地下構造データベース :
1	11頁 表2.3.1「提供・管理(ウェブサイトアドレス)」下から12行目	千葉県総務部情報システム課(http://map.pref.chiba.lg.jp/index.asp)	千葉県総務部情報システム課(https://map.pref.chiba.lg.jp/pref-chiba/Portal)
1	11頁 表2.3.1「提供・管理」下から10行目	神奈川県都市整備技術センター(http://www.toshiseibi-boring.jp/)	神奈川県都市整備技術センター(http://www.kanagawa-boring.jp/)
1	11頁 表2.3.1「提供・管理」下から9行目	岐阜県 県土整備部技術検査課	岐阜県 建設研究センター
1	11頁 表2.3.1「名称」下から8行目	静岡県 統合基盤 地理情報システム	静岡県地理情報システム
1	11頁 表2.3.1「提供・管理」下から8行目	静岡県交通基盤部建設 支援局技術管理課	静岡県交通基盤部建設 技術企画課
1	11頁 表2.3.1「名称」下から6行目	岡山県地盤情報	おかやま全県統合型 GIS
1	11頁 表2.3.1「提供・管理」下から6行目	岡山県地質情報活用協議会(http://www.gis.pref.okayama.jp/map/top/index.asp)	岡山県県民生活部情報政策課(http://www.gis.pref.okayama.jp/pref-okayama/Portal)
1	11頁 表2.3.1「提供・管理」下から1行目	神戸の地盤・減災研究会	神戸 JIBANKUN 運営委員会
1	12頁 表2.3.2「地盤および地下水情報」下から6行目	γ_t, c, ϕ 地下水位	γ_t, c, ϕ , 地下水位
1	13頁 表2.3.3「規格基準」上から18行目	JIS A 1234	JIS A 1216
1	15頁下から7行目	……, シルトや粘土層は……	……, シルト 層 や粘土層は……
1	19頁下から4行目	……, pp. 519-531 , 2013	……, pp. 108-114 , 2013

1	20頁 表2.4.1「調査目的」上から3行目	……, 生活用水として影響を知るために……	……, 生活用水への影響を知るために……
1	44頁上から3行目	……発生する応力が許容応力度を満足する……	……発生する応力が許容応力度以下となる……
1	53頁上から13行目	……腹起しの弱軸方向力に対する剛性が低く, ……	……応力材の弱軸方向力に対する剛性が低く, ……
1	103頁下から7行目	……止水性の確保……	……遮水性の確保……
1	130頁下から8行目	A_p : 単位幅あたりの山留め壁先端の有効断面積 (m^2) [図 6.2.2]	A_p : 単位幅あたりの山留め壁先端の有効断面積 (m^2/m) [図 6.2.2]
1	130頁下から1行目	Ψ : 単位幅あたりの山留め壁の周長 (m) [地盤と接している部分. 図 6.2.2 参照]	Ψ : 単位幅あたりの山留め壁の周長 (m/m) [地盤と接している部分. 図 6.2.2 参照]
1	132頁上から5行目	Ra_2 : 応力材とソイルセメントの付着・せん断および先端抵抗から定まる単位幅あたりの許容鉛直力 (kN) [地盤と接している部分. 図 6.2.2 参照]	Ra_2 : 応力材とソイルセメントの付着・せん断および先端抵抗から定まる単位幅あたりの許容鉛直力 (kN/m) [地盤と接している部分. 図 6.2.2 参照]
1	134頁下から9行目	M_r : 単位奥行きあたりのすべり面に沿う地盤のせん断抵抗モーメント (kN・m)	M_r : 単位奥行きあたりのすべり面に沿う地盤のせん断抵抗モーメント (kN・m/m)
1	134頁下から10行目	M_d : 単位奥行きあたりのすべり面に沿う地盤のせん断抵抗モーメント (kN・m)	M_d : 単位奥行きあたりのすべり面に沿う地盤のせん断抵抗モーメント (kN・m/m)
1	134頁下から15行目	W : 単位奥行きあたりの滑動力 (kN)	W : 単位奥行きあたりの滑動力 (kN/m)
1	136頁上から7行目	iv) $N_{bc}=5.14$ 極限に……	iv) $N_{cb}=5.14$ 極限に……
1	149頁 図6.6	$k_h \cdot B \cdot y \leq p_{max}$	$Bk_h \cdot y$ ($k_h \cdot y \leq p_{max}$)
1	154頁上から6行目	…… (図中の一点鎖線) ……	…… (図中の破線) ……
1	154頁 図6.4.2の凡例	(f : 背面側, b : 掘削側)	(f : 掘削側, b : 背面側)
1	155頁上から1行目 (6.4.6) 式	$P=k_h y$ ただし, $\leq p_{max}$	$p=k_h \cdot y$ ただし, $\leq p_{max}$
1	156頁最下段	「建築基礎構造設計指針・同解説」	「建築基礎構造設計指針」
1	156頁最下段	…推定式 $k_h=\alpha \zeta E_0 B^{-3/4}$ において, $\alpha=80$, $\zeta=1$, $E_0=700N$	…推定式 $k_h=\alpha \xi E_0 \cdot B^{-3/4}$ において, $\alpha=80$, $\xi=1$, $E_0=700N$
1	161頁 図6.4.9	図 6.4.9 両面ばねモデル	図 6.4.9 両面ばねモデル <small>6.4.15)</small>
1	170頁 図6.4.16	記号 M_a : 背面側側圧による回転モーメント ($=p_a \cdot h_a$) p_a : 背面側側圧の合力 …… M_p : 掘削側側圧による回転モーメント ($=p_p \cdot h_a$) p_p : 掘削側側圧の合力 ……	記号 M_a : 背面側側圧による回転モーメント ($=P_a \cdot h_a$) P_a : 背面側側圧の合力 …… M_p : 掘削側側圧による回転モーメント ($=P_p \cdot h_a$) P_p : 掘削側側圧の合力 …… ※図中の p_a , p_p も P_a , P_p に修正
1	173頁 図 6.4.21 の凡例の追加		— 破線: $y=0.981x$
1	187頁 (6.5.1) 式	$\sigma_b \leq f_s$	$\sigma_b \leq f_b$
1	189頁下から9行目	……曲げに対する……	……曲げモーメントに対する……
1	190頁 図6.5.2中の (a) の式	$Q = \frac{w \cdot l_2}{2}$ $\tau = \frac{Q}{b \cdot d_e} \leq f_s$	$Q = \frac{w \cdot l_2}{2}$
1	190頁 図 6.5.2 (b) の凡例	記号 b : 深さ方向の単位長さ ……	記号 τ : せん断応力度 (kN/m ²) b : 深さ方向の単位長さ ……

1	191頁 図6.5.3(a)の式	$V = \frac{w \cdot l_2}{2}$	$V = \frac{w \cdot l}{2}$
1	191頁 図6.5.3(b)中の記号	N_B	N
1	204頁17行目	I_y : 切梁支柱の弱軸方向断面 2次モーメント (m^4)	I_y : 切梁支柱の弱軸方向断面 2次モーメント (m^4)
1	206頁上から9行目	L_c : 根切り底以深で砂質土地盤にある……	L_c : 根切り底以深で粘性土地盤にある……
1	206頁上から11行目	c_u : 粘性土の非排水せん断強度 (kN/m^2). ……	c_u : 粘性土の非排水せん断強さ (kN/m^2). ……
1	220頁 図7.2.4のキャプション	図7.2.4 周辺地下水低流量 ^{7.2.2)}	図7.2.4 周辺地下水水位低流量 ^{7.2.15)}
1	225頁上から13行目	……7.2 (2) (ii) ……	……7.2 (2) a) (ii) ……
1	226頁下から8行目 参考文献	7.2.7) 地盤工学会: 地盤材料試験の方法と解析 ……	7.2.7) 地盤工学会: 地盤材料試験の方法と解説 ……
1	266頁上から2行目	……「土の流動化処理工法」 ^{例えば9.2.4)} に示されている……	……「土の流動化処理工法」 ^{9.2.4)} などに示されている……
1	302頁 図9.5.7 グラフの横軸	流量 Q_p (m^3/mm)	流量 Q_p (m^3/min)
1	303頁 図9.5.9 グラフの横軸	流量 Q_r (m^3/mm)	流量 Q_r (m^3/min)
1	304頁 図9.5.10	④井戸管内部にコンクリートなどを充填後, 上蓋を2種のフランジを設置して……	④井戸管内部にコンクリートなどを充填後, 上蓋をフランジに接合して……
1	315頁 図10.1.1最右列8項目め	重機などのサーチャージ (動荷重)	重機などのサーチャージ過小評価 (動荷重)
1	315頁 図10.1.1最右列最下段		
1	316頁8行目	……次に計測する現象を設定し, ……	……次に計測する項目を設定し, ……
1	319頁 表10.2.1欄外 [注]	○: 必要 △: 条件, 状況によって必要性を判断根切り底面の安定係数 N_b は 6.3.1「ヒービング」参照 (): ……	○: 必要 △: 条件, 状況によって必要性を判断 (): …… 根切り底面の安定係数 N_b は 6.3.1「ヒービング」参照
1	323頁6行目	……なお、機器計測	……なお、機器測定
1	323頁7行目	……電氣的計測と同じ……	……電氣的測定と同じ……
1	328頁 図10.3.6	ブルドン管式油圧計	ブルドン管式油圧計
1	329頁 図10.3.7	フランジ幅が縮小する	ウェブ幅が縮小する
1	340頁 表10.5.1のキャプション	測定値に応じた……	測定値の範囲に応じた……
1	340頁 表10.5.2の「切梁軸力」備考欄	切梁の許容応力度以下を……	切梁の許容応力度を……
1	341頁 表10.5.4のタイトル行	近接構造物の種類・状態	近接構造物の種類
1	418頁 表下から3行目12列目 *300×300の Z_x の数値	3501	1350
1	418頁 表下から1・2行目5列目 350×175の r の数値	133	13

1	419頁 表上から7行 目14列目 400×200 の i' の数値	529	5.29
1	420頁 表上から6行 目7列目 45×45 (t =5) の $I_x=I_y$ の数値	7.71	7.91
1	421頁 表下から1行 目13列目 380×100 ($t_2=20$) の Z_y の数値	87.7	87.8
1	422頁 表下から4行 目4列目 D35の S の数 値	7.566	9.566
1	423頁 6リース材 (H形鋼) の断面性 能の図の右側に追加		H-500 $l=200\text{mm}$
1	423頁 6リース材 (H 形鋼) の断面性能の 表の下に注記を追加		[注] 孔の位置により断面性能が異なるものも ある。